

特色のあるため池の紹介

名 称		所 在 地	
はっちょうこ 八丁湖		ひきぐん よしみまち くろいわ 埼玉県比企郡吉見町大字黒岩	
貯水量	受益面積	堤 高	堤 頂 長
106 千m ³	11.6 ha	6.0 m	154 m

ため池の紹介文

八丁湖は、比企丘陵の東端に位置する江戸時代に築造された歴史ある農業用ため池です。ため池は、県立比企丘陵自然公園の一部に指定されており、武蔵野の豊かな自然を有します。ため池周辺は町の八丁湖公園として整備され、池を周遊する、自然とふれあえる散策道も設置されています。散策道の一部は、県の「ふるさと歩道」にも指定されており、ハイキングや散歩などで多くの人が訪れています。

平成17年度から平成20年度には、県営ため池等整備事業（老朽ため池）により、堤体や取水施設、洪水吐の整備を行いました。堤体の整備にあたっては、池の堆積土を利用し、内側へ盛土を行い、樹木張出を防ぐ防根シートを設けるなどして、既存堤体の樹木を極力残すよう改修しました。また、護岸については自然の玉石張りとし、景観や水中生物に配慮しています。

平成21年度から平成23年度には、町が水辺再生100プラン事業（埼玉県単独事業）で、堆積土砂の浚渫や湿性花園の整備、遊歩道の整備を行いました。水辺を散策できるデッキ構造の遊歩道を設置したことにより、湖内に生息する生き物と間近に接することができるようになりました。また、デッキには擬木を使用することにより、景観を損ねないように配慮しています。

ため池の写真



春の八丁湖



擬木を使った遊歩道